

【市政情報室・ホームページ用】

平成20年千葉市教育委員会会議 第1回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成20年千葉市教育委員会会議第1回定例会会議録

日時 平成20年1月16日(水)

午後2時00分開会

午後2時40分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員	委 員	長	津田	英彦
	委	員	奥山	福子
	委	員	竹蓋	幸生
	委	員	川島	義美
	委	員	岩沼	静枝
	教 育	長	飯森	幸弘

出席職員	教育総務部長	大野	湊	指導課長	小池	公夫
	学校教育部長	岩切	裕	保健体育課長	嶋田	信昭
	生涯学習部長	宮野	光正	教育センター所長	五十嵐	一博
	稲毛高等学校長	柴寄	光夫	養護教育センター所長	三橋	雅夫
	教育総務部参事(総務課長事務取扱)	武田	昇	生涯学習部参事(生涯学習振興課長事務取扱)	本庄	賢一
	企画課主幹	山下	正敏	社会体育課長	小川	重夫
	学校財務課長	豊田	英男	青少年課長	村松	好晴
	学校施設課長補佐	渡辺	康弘	中央図書館長	田口	幸男
	学事課長	荒川	眞治	総務課総括主幹	原	誠司
	教職員課長	時田	猛	学事課調整主幹	白鳥	洋二

書 記	総務課長補佐	大崎	賢一	総務課副主査	小池	正彰
	総務課総務係長	藤代	真史	総務課主任主事	渡邊	賢一
	総務課経理係長	高橋	義浩	総務課主事	犬飼	綾

1 開会

津田委員長より開会を宣言

2 会議の成立

全委員の出席により会議成立

3 会議録署名人の指名

津田委員長より川島委員を指名

4 会期の決定

平成20年1月16日(1日間)ということで全委員異議なく決定

5 議事日程の決定

議事日程を全委員異議なく決定

6 議事の概要

(1) 報告事項

報告事項(1) 千葉市民ゴルフ場指定管理予定候補者の選定について

社会体育課長より報告があった。

報告事項(2) 全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について

指導課長より報告があった。

報告事項(3) 2007年度ソニー子ども科学教育プログラムにおける市立中学校の最優秀プロジェクト校入選について

指導課長より報告があった。

報告事項(4) 千葉市新港学校給食センター整備事業について

保健体育課長より報告があった。

報告事項(5) 千葉市科学館の利用状況について

生涯学習振興課長より報告があった。

報告事項(6) 平成20年千葉市成人の日を祝う会について

青少年課長より報告があった。

(2) 発言の要旨

報告事項(1) 千葉市民ゴルフ場指定管理予定候補者の選定について

津田委員長 社会体育課長、報告をお願いします。

社会体育課長 報告事項(1)「千葉市民ゴルフ場指定管理予定候補者の選定について」報告します。平成20年1月8日に開催された平成19年度第2回千葉市教育委員会指定管理予定候補者選定委員会において、指定管理予定候補者が決定されました。まず、募集の概要ですが、対象施設は千葉市民ゴルフ場で、所在地は若葉区下田町1005番地、指定期間は開場予定の本年10月から平成30年3月31日までです。本施設は、下田一般廃棄物最終処分場跡

地を有効利用し、市内初の9ホールのパブリックゴルフ場として、市民がゴルフを楽しむことを身近なものとするとともに、これまでゴルフに親しむ機会がなかった方々にもゴルフを始めるきっかけを提供し、もって生涯スポーツの振興及び市民の健康増進に寄与することを目的として設置するものです。指定管理者が行う業務の範囲は、施設の運営、維持管理など市民ゴルフ場に係る業務全般です。次に本事業の特徴ですが、1点目は利用料金収入による独立採算制で、利用料金や自主事業の収入等を指定管理者の収入とする一方、市の指定管理者に対する委託料等の支出は行いません。2点目は充実した普及啓発事業の実施を指定管理者に求めている点で、従来ゴルフに親しむ機会が少なかった子どもや高齢者、障害者の方々にもゴルフを始めるきっかけを提供し、ゴルフを身近なものとするための事業を行うものとし、その具体的な実施手法を応募者に提案させました。3点目は納付金の徴収で、指定管理者から市に対して、年度ごとの収入額に定率を乗じた額を納付させることとし、その率を応募者に提案させました。決定された指定管理予定候補者の団体名は「千葉市民ゴルフ振興共同企業体」で、「株式会社京葉カントリークラブ」及び「内山緑地建設株式会社」の2社による共同企業体です。また、当該団体からの提案では、社団法人日本プロゴルフ協会、千葉県プロゴルフ会、東京情報大学などが協力団体として挙げられています。次に選定委員会における審査結果ですが、選定委員会は、教育次長、教育総務部長、学校教育部長、生涯学習部長、教育総務部総務課長及び環境局施設部長に、公認会計士、弁護士、ゴルフ場経営経験者の外部委員3名を加えた9名で構成しました。審査においては、9名の委員が各応募団体の提案内容を事前審査し、さらに各応募団体へのヒアリングを行ったうえで最終的な審査・採点を行い、第1順位となった指定管理予定候補者は、520点満点中422点の得点でした。その他の団体の得点は資料記載のとおりです。次に選定の理由ですが、選定委員会において応募団体から提出された提案書等について総合的に評価をしたところ、千葉市民ゴルフ振興共同企業体の提案は、管理運営の基本的な考え方、事業の遂行能力、施設管理・経営管理計画など、6項目の審査項目すべてについて千葉市民ゴルフ場の管理能力が高く評価でき、評価の点数の合計が最も高かったものです。特に、社団法人日本プロゴルフ協会の協力のもと、初心者から上級者まで幅広い競技人

口の拡大に向け、普及啓発事業を推進するという姿勢が、生涯スポーツの振興と市民の健康の増進という本施設の設置目的に合致するものとして、高く評価されました。以上のことから、千葉市民ゴルフ振興共同企業体を指定管理予定候補者として選定しました。今後の予定としては、平成20年第1回千葉市議会定例会に指定議案を上程し、施設整備は本年6月末までに完了する予定です。その他応募状況及び選定経過等については、資料記載のとおりです。

報告事項(2) 全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について
津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(2)「全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について」報告します。本年度も本市の市立学校に通う児童生徒が、各種大会・コンクール等で優秀な成績を収めました。全国1位が8人と1団体、全国2位が2人と1団体ですが、その中で特に優秀な成績を収めた児童生徒について報告します。まず、
小学校5年 は、「第58回全日本珠算競技大会」の読上算競技・小学生の部で優勝、さらに読上暗算競技・小学生の部でも優勝するなど、輝かしい成績を収めました。次に、

小学校の は、今年度から始まった「いつもありがとう」作文コンクールで、全国2位の成績にあたる朝日小学生新聞賞を受賞しました。これは、新聞配達をしているお母さんの仕事を初めて手伝った経験から、両親への感謝の気持ちが素直に書かれたものです。次に、
中学校1年 は、「第13回サイエンス・グランプリ」で文部科学大臣賞及び最優秀作品グランプリ賞を受賞しました。研究テーマは「オカダンゴムシはほんとうに害虫か」です。この研究に取り組んだきっかけが非常にユニークで、家に寄り付くようになった野良猫のフンが、気がつくともなくなっているという現象に気づき、研究を始めたということです。次に、
中学校の

、 は、それぞれの俳句大会で優秀な成績を収めました。作品は資料記載のとおりです。次に、
中学校2年

は、本年5月に公開予定である映画「ナルニア国物語カスピアン王子の角笛」の絵画コンクール、中・高校生の部で最優秀賞を受賞し、新聞においても大きく紹介されました。次に、

中学校3年 は、「第1回全日本ジュニア短歌大会」でジュニア大賞を受賞しました。最後に、本日報告した他にも、

優秀な成績を収めている児童生徒たちが多数いることを付け加えさせていただきます。今後も、新たに全国規模の大会・コンクール等で優れた成績を収めた児童生徒がおりましたら報告します。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

竹蓋委員 中学校の生徒が4人受賞していますが、中学校では何か特別な指導をしていたのですか。

指導課長 中学校では、授業のみならず修学旅行や自然教室、夏休みの行事等にも絡めて、全校をあげて俳句や短歌の指導に取り組んでおり、その中でも特に希望する生徒が応募したために、多く入選しているのだと思います。

竹蓋委員 学校の影響で生徒が伸びるということはすばらしいことだと思います。

津田委員長 中学校には、俳句や短歌に造詣の深い教員がいるのでしょうか。

指導課長 俳句や短歌に一生懸命に取り組んでいる国語の教員がいます。
報告事項(3) 2007年度ソニー子ども科学教育プログラムにおける市立中学校の最優秀プロジェクト校入選について

津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(3)「2007年度ソニー子ども科学教育プログラムにおける市立中学校の最優秀プロジェクト校入選について」報告します。ソニー子ども科学教育プログラムは、ソニーの創業者である井深・盛田両氏の「日本の発展には小・中学生の理科教育が重要である」という考えに基づき、1959年から実施されている科学教育の振興支援活動で、子どもたちの教育に情熱を持って取り組む学校を表彰しています。2007年度ソニー子ども科学教育プログラム「科学が好きな子どもを育てる」実践と教育計画には、全国の小・中学校から197件の応募があり、書類審査、現地訪問、最終審査を経て、千葉市立緑町中学校が最優秀プロジェクト校に選ばれ、表彰式が1月19日土曜日、ソニー株式会社本社ビルで行われます。千葉市立緑町中学校の研究テーマは、「生活の中で生きる科学 - マルチ・サイエンス・プロジェクト -」で、理科を単独の教科としてではなく、他教科と関連づけて学ばせようという考えに基づき、着実に実践を積み重ねている点が大きな特徴です。「マルチ・サイエンス・プロジェクト」は、「本物に触れる感動体験の重視」、「生徒の多様なひらめきや考え方の

活用」、「科学的に解釈したり表現したりする場の工夫」、「日常生活の中で学習経験を生かす場の設定」という大きな4つの柱からなります。特に緑町中学校では、「緑中QUEST(Questions for Understanding, Exploring, Seeing, and Thinking)」と名づけている活動を実施しており、他教科との連携を意識した理科の発展的学習など、理科の授業や科学に無理なく興味を持てる授業が高く評価されたことによる受賞となりました。なお、昨年度は泉谷中学校が受賞しており、千葉市立学校が2年連続の受賞となりました。また、緑町中学校は、今年度に平成18、19年度千葉市教育委員会研究指定校として公開授業等を実施し、また、全国中学校社会科教育研究大会の会場校となりました。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

岩沼委員 197件の応募から選ばれたということで、本当に受賞することが難しい、すばらしい賞を受賞したと思います。学校単位で情熱を持って取り組んでいた点が評価されたということなので、受賞した学校以外の千葉市内の学校や保護者の方々、子どもたちにも、このような賞があって千葉市の学校が受賞できたこと、そのように一生懸命取り組んでいる学校があることがよくわかるようにアピール、広報をしてほしいです。どのような賞なのかがわかるように広報してください。このほかにも、千葉市の教育は良いことをやっているのがなかなか発信できていないので、現場の教員も子どもたちも、もっと誇りを持ってがんばれるよう、今後も広報をしっかりお願いします。

指導課長 本件については、今後も十分アピールしていきたいと考えています。また、昨年度受賞した泉谷中学校において、今年度、ソニー科学教育研究会全国大会が開催され、緑町中学校においても来年度当該全国大会が開催される予定であるため、その場でも多くの方々に見ていただけるようにしたいと思います。

岩沼委員 科学館との連携により、千葉市の学校では、本当にがんばって科学に取り組んでいるということを広報できれば良いと思います。

津田委員長 千葉市の学校の受賞について、科学館においてもアピールをしてほしいと思います。

報告事項(4) 千葉市新港学校給食センター整備事業について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(4)「千葉市新港学校給食センター整備事業について」

報告します。本事業は、平成18年11月にPFI手法による整備が決定され、平成22年4月からの供用開始に向け、昨年6月12日に実施方針を公表しましたが、その後、防衛施設庁の発注工事をめぐる官製談合事件に対する公正取引委員会の排除措置命令を受け、同年6月28日に本市が建設会社49社に対して指名停止措置を行いました。このことにより、適切な設計・建設及び安定した運営が図れないおそれがあること等の理由から、特定事業の選定公表以降のスケジュールを延期することについて、同年7月13日に公表しました。その後、指名停止期間が終了したこと及び昨年12月26日に開催された千葉市PFI事業審査委員会における審議内容等を受け、1日も早い学校給食センターの開設に向けて、事業再開を決定しました。主なスケジュールについては、1月11日に特定事業の選定・公表、入札公告及び入札説明書の公表、3月18日に参加表明書、参加資格申請書の受付、4月25日に入札及び提案書の受付、6月に落札者の決定及び公表、基本協定の締結、8月上旬に仮契約の締結、9月の平成20年第3回千葉市議会定例会に事業契約の議案を上程し、可決された後、契約の締結をする予定です。供用開始は当初の予定より半年遅れ、平成22年10月を予定しています。

報告事項(5) 千葉市科学館の利用状況について

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(5)「千葉市科学館の利用状況について」報告します。

昨年10月20日にオープンした科学館は、1月14日現在で開館日数82日に対し、利用者合計が128,296人と、非常に多くの方々に利用いただいている状況で、各月の利用状況及び利用内容については、資料記載のとおりです。次に、年末年始の利用状況ですが、12月29日から1月1日の元旦までの4日間は休館し、1月2日及び3日の2日間は開館しました。市立小・中学校冬季休業中の利用状況についてですが、通常の土日の平均利用者数は、土曜日では約1,500人、日曜日では約2,000人であるところ、学校の冬休み期間中の12日間の合計は19,314人で、平均で1日に約1,600人と、連日多くの利用がありました。年末年始の日ごとの利用者数については資料記載のとおりです。次に、1月2日及び3日の利用状況等ですが、2日間の利用者数は3,324人でした。1階のアトリウムで行った「サイエンスショー」には220人、また、科学工作としての凧づく

りやパワーストーンづくりの「ワークショップ」には286人、合計506人の子ども達や家族づれの方々が参加しました。次に、利用者数20万人達成の見込みについてですが、科学館では初年度の利用者見込みを20万人と想定しており、現在の利用状況等から予測すると、20万人を達成するのは4月上旬頃であると考えており、利用者は概ね順調に推移しているものと考えています。

津田委員長 質問等を含め、何かありますか。

津田委員長 資料の利用状況等には、常設展示、プラネタリウム、企画展とありますが、これらの数値は重複しているものもあるのでしょうか。

生涯学習振興課長 常設展示とプラネタリウムのセット券を購入し、両方ご覧になる方もいますが、1月14日まで実施した企画展は別料金であり、人数も別にカウントしているため重複はしていません。

報告事項(6) 平成20年千葉県成人の日を祝う会について

津田委員長 青少年課長、報告をお願いします。

青少年課長 報告事項(6)「平成20年千葉県成人の日を祝う会について」報告します。対象者9,235人に対して、当日の式典参加者は5,998人、参加率は64.9%でした。式典の内容の概要ですが、千葉県教職員合唱団「夢と虹」による「大地讃頌」の合唱、千葉ロッテマリーンズのボビー・バレンタイン監督のビデオメッセージ、第二部は運営委員会の新成人が進行し、奥華子さんのミニコンサートを行いました。また、「花の都・ちば」のPRを兼ね、市内小学校児童により作られた花のトピアリー3基を会場内の正面入口、アリーナ及び2階に設置しました。平成19年と平成20年の参加者数等の比較については、資料記載のとおりです。

7 その他

(1) 裁判判決の結果について、教職員課長より報告があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

【略】

(2) 次回第2回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

8 閉会

津田委員長より閉会を宣言